



業務用食品・食材、機器、容器の総合見本市 「FABEX 2017」が開催！

第20回 「FABEX 2017」(The World Food And Beverage Great Expo 2017)

- 期間：4月12日(水)～14日(金)
- 場所：東京ビックサイト 東1～4ホール
- 主催：日本食糧新聞社
- 内容：外食・中食産業向けの食品・飲料の展示会や各種セミナー等

■過去最多の920社・団体が出展！

外食・中食業者向けに国産農畜産物や加工品を売り込む展示商談会である「FABEX 2017」が、東京ビックサイトで開催されました。第20回目となる今回は、食品メーカーや自治体など過去最多の約920社・団体の出展がありました。また、総菜・べんとうグランプリや介護食品コンクール等様々なイベントに加え、特設ステージでは、飲食関連企業によるセミナーやトークセッション等の様々な催しが行われていました。

■3団体が本県産農産物や農産加工品をPR！

本県からは、6団体の出展があり、そのうち3団体から本県産農産物や本県産素材を活用した農産加工品の紹介がありました。

川場村は、環境王国（地域の人々と消費者とが共に連携し、「官」・「民」が一緒になって環境保全に努め、未来に継ぐことを目的に活動する地域を指しており、現在川場村を含めて全国から14市町村が認定）として出展し、「雪ほたか」や「やよいひめ」等の展示と観光ガイドブックの配布が行われ、川場村の特徴や観光資源等のPRを行っていました。

また、桐生市の森産業(株)は、生椎茸や乾燥椎茸に加えて、各種きのこ栽培キットが、太田市の三和食品(株)は、群馬県ふるさと認証食品に登録された太田市産のやまといもを100%使用した「三日とろろ」が展示され、来場者に県産素材をPRしていました。



川場村展示の様子



環境王国で川場村をPR



森産業(株)展示の様子



三和食品(株)展示の様子